



発行：東京都公民館連絡協議会
 会長：東大和市
 職員部会長：国分寺市（増本）
 同副部会長：国立市（檜垣）
 開催：国分寺市・原則第3水曜日
 会員：西東京市（山本）・福生市（藤木）・
 狛江市（金子）・東大和市（高木）・
 昭島市（山本）・町田市（菊島）・
 小金井市（山崎）・小平市（佐藤）
 日野市（瀧口）・国分寺市（山田）

8月9月の職員部会報告

職員部会では例年9月に「職員部会研修会」を実施してきた経緯がございますが、担当で議論を重ねた結果、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりましたことを改めてこの場でお知らせいたします。

今年のコロナ禍において、感染者数につきましては、連日報道等で告知されておりますが、以下のとおり東京都福祉保健局では、届出保健所別の数値も公表されております。正しい地域の情報を入手し、市民と共有しながらできる対策を整えていきたいと思っております。

■東京都福祉保健局ホームページ「新型コロナウイルス感染者の新規陽性者数」より

10 / 5 新規陽性者数 (届出保健所別)



■社会教育実習生の受入について

また、この夏は今年度から改正された新しい社会教育主事養成課程で必修科目となった社会教育実習生の受入も始まりました。国分寺市においても、東京学芸大学や東京都立大学の学生が30時間か60時間のカリキュラムで実習をしています。主な内容としては、公民館の運営や講座の企画立案に関する実務、社会教育職員の専門的力量に関する研修、地域住民の学習ニーズの把握や学習支援の具体的スキルの習得などが挙げられます。ぜひ、都公連加盟市の職員各位とも情報共有をしながら、人材育成に資する社会教育施設として協力していきたいと思っております。

コロナ禍における福生市公民館

福生市公民館松林分館 藤木 香

《公民館の利用について》

福生市公民館では、6月2日の利用再開以降、利用者の皆さまに、マスクの着用や手指の消毒、こまめな換気、自宅での検温など様々なことをお願いしています。館からお願いしているコロナ対策のほかに、利用者自身がコロナ禍において、どのようにしたら活動ができるのかを考え、活動に合わせた対策を取っている団体もあります。

例えば、会員の人数が多いサークルでは、メンバーを半分に分け、時間入れ替え制で活動していたり、フェイスシールドを用意し、飛沫対策をしているサークルがありました。なかには、サークルのメンバーで話し合い、ソーシャルディスタンスの確保や飛沫対策が難しいという理由から、活動をお休みする団体もありました。

今まで通りとはいかないものの、活動を再開したサークルからは、久しぶりに仲間と会えた喜びの声が聴けました。一方で、高齢の利用者から、外に出るのが怖いという声も聴きます。新しい生活様式に寄り添った利用方法について、少しずつ慣れてきた頃ではありますが、これからもご理解ご協力いただき、安全な運営に努めていきたいです。

《主催講座の再開に向けて》

市の方針に基づき、2月末から当分の間、事業を行っていませんでしたが、10月以降の主催講座の開始に向けて、準備を進めています。保育室事業については、どのような対策が必要なのか、職員と保育者で協議を重ねました。おもちゃの取り扱いやおむつの交換、おやつなど、従来通りに実施するのは難しいため、一つひとつ丁寧に検討していきました。

公民館保育室では、新型コロナウイルス、秋冬にかけて流行する感染症に対して、十分な安全対策を取りながらも、お子さんをただ預かるだけではなく、共に育ち合い、社会性と自立を学ぶ場所として、ひとりひとりの人権を大切に、保育を行います。お子さん、保護者、保育者が安心して活動できるよう、より安全な環境をつくるのが職員の大きな役割だと感じています。

公民館主催事業「お茶席体験」を、家庭で気軽に楽しんでいただきたいという思いから、新しい取り組みとして、動画「家庭で楽しめる抹茶の点て方」の作成を行いました。お茶席体験の講師に出演していただき、公民館が管理する茶室福庵で撮影をしました。動画は福生市ホームページより閲覧できます。



家庭で楽しめる抹茶の点て方

再開した公民館事業の紹介

狛江市西河原公民館 金子 由美

新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業を中止としていましたが、各市と同様に、狛江市でも慎重に状況を見ながら少しずつ事業を再開しています。どの事業も、マスク着用、手指消毒、換気等の他、定員を減らす、席の間隔を空ける、時間を短縮する等の方法で感染リスクを抑え、かつ事業の意義が失われないようにするため、今までになく職員の工夫が求められています。

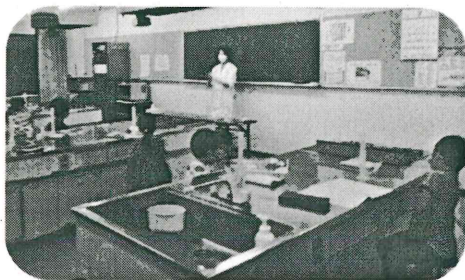
【日本語教室】

ボランティアで講師を募集し、外国人の方を対象とした日本語教室です。コロナ禍で4～7月の1学期を中止としましたが、9～12月の2学期は開校することとしました。開校まで講師の方々と慎重に検討を重ねており、座席を離す・フェイスシールド着用・飛沫防止パネル設置・学習DVD視聴・授業時間短縮などにより、感染リスクを抑えていく予定です。また、日本語教室は「学習」の面だけでなく「交流」（飲食含む）の面でも、外国人の方にとって重要な活動拠点となっています。参加者同士のつながりを生み出す機能が弱まらないようにすることも、更なる今後の課題としています。

【多目的ホール観覧席】

多目的ホールは約200席の階段状の観覧席があり、電動で壁面に収納されるため多用途に使用でき、利用者からも人気の施設です。映画会やクリスマスコンサートといった公民館の事業でも定期的に使用していますが、コロナ禍で観覧席の使用を中止としました。これを使用できるようにするため、職員間でも7月頃から試行錯誤を重ね、最終的に200席から57席へと席数を縮小して使用可能とすることに決定しました。使用しない席は、折りたたまれる座面と背もたれの間のカビ防止シートを挟み、PPバンドというプラスチック製の紐を座席に巻き付けることで、椅子が開かないようにしています。

【子どもの実験教室】机1台に斜め2名の席



【図書室おはなし会】予約制 定員10名



職員の努力と利用者・関係者の協力により、この他にもいくつかの公民館事業を再開できています。各市のイチオシの工夫など、情報交換できれば幸いです。

ピクトサインの活用

今年の夏は連日「危険な暑さ」となり、猛暑も非常に厳しい中、臨時休館明けの公民館では、コロナ対策と同時に熱中症対策にも配慮して施設運営が行われたことと思われます。

国分寺市では、子どもたちからお年寄りや外国籍の方にまで分かり易いピクトサイン*等を館内に掲示して、市民が公民館を利用する際により一層の注意喚起を促しました。

- ① 来館前の検温
- ② マスクの着用
- ③ 手指の消毒
- ④ 館内・室内の換気
- ⑤ ソーシャルディスタンスの確保
- ⑥ 机やイスなど備品の消毒

公民館を安全に利用するために



来館前の体温確認



マスクの着用



手指の消毒



部屋の換気



距離の確保



机・イスの消毒

皆さまのご協力をお願いします

国分寺市立恋ヶ窪公民館

*ピクトサインとは、情報や注意を示すために表示される視覚記号・マークのこと。

皆さまの館では、館内表示をする上でどのような創意工夫をなさっておられるでしょうか。「これは面白い！わかりやすい！」などの情報がございましたら、是非ご提供ください。

令和2年度都公連職員部会ニュースレター 担当市

	担当市	
6月7月	国立市	西東京市
8月9月	福生市	狛江市
10月11月	東大和市	昭島市
12月1月	町田市	小金井市
2月3月	小平市	日野市

*ご担当の号をどうぞご確認ください。

編集後記

お陰様で、なんとか2号の発行に至りました。議会月でお忙しい中、原稿執筆・送付くださいました狛江市さんと福生市さん、どうもありがとうございました。

業務的、社会教育実習生の受入に伴い、改めて「公民館とは何か」を自問し、国社研の「公民館に関する基礎資料」400頁と格闘したり、全公連の冊子を読み直す、「学びの夏」となりました。ややもするとオンライン化にシフトしがちなご時勢ですが、どっこい「原点回帰」して、公民館のそもそも論を職場でも一度振り返ってみるのも大切ではないでしょうか。

個人的には、練馬区民として「としまえん」が94年の歴史に幕を閉じたことがこの夏のトップニュースでした。メディアでは「エルドラド」という回転木馬がクローズアップされておりますが、重力を体感できるジェットコースターやお花屋敷も多数あって、幼い頃より緑豊かな「都会のオアシス：遊園地」でした。

公民館も地域住民の皆さまにとって、「知のゆうえんち」になれたらと願っております。

社会教育法(昭和24年法律第207号)

(目的)

第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。